

目標	地域づくり
主な取組	インクルーシブ教育システムの構築（優先課題3）
事業名	29 特別支援教育総合推進事業
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校
事業内容	インクルーシブ教育システム理解研修会の実施
取組方針・達成目標	○インクルーシブ教育システム構築、共生社会の実現のため、県内3ブロック（3会場）に分け、学校・市町村教委・福祉関係等の関係者を対象に研修会を実施する。 ○各ブロック150名前後の参加者を想定、かつ、高等学校等の通級による指導に関わる職員の参加の充実を目指す。令和3年度を目標に、各ブロック代表校に運営移管することを目指す。
令和4年度実績	○インクルーシブ理解研修会と特別支援教育コーディネーター養成研修会を合わせ、令和3年度より特別支援教育スキルアップ研修会として特別支援教育に関する幅広いテーマを基に実施。各ブロック共通の研修を企画し、オンラインで3回実施し、延べ129人の参加があった。
令和5年度事業概要	○特別支援コーディネーター及び特別な配慮を必要とする幼児・児童・生徒に関わる関係者の専門性の向上を図る内容として、特別支援教育スキルアップ研修会をオンライン及びオンデマンド方式で3回実施する。

目標	地域づくり
主な取組	インクルーシブ教育システムの構築（優先課題3）
事業名	30 共に学ぶ教育推進モデル事業（再掲）
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校、市町村教委、小中学校等
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>8 共に学ぶ教育推進モデル事業 再掲につき記載を省略</p> </div>
取組方針・達成目標	
令和4年度実績	
令和5年度事業概要	

目標	地域づくり
主な取組	インクルーシブ教育システムの構築（優先課題3）
事業名	31 居住地校学習推進事業（再掲）
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校、市町村教委、小中学校等
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>9 居住地校学習推進事業 再掲につき記載を省略</p> </div>
取組方針・達成目標	
令和4年度実績	
令和5年度事業概要	

目標	地域づくり
主な取組	インクルーシブ教育システムの構築（優先課題3）
事業名	R4-2 特別支援学校魅力化推進事業
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校、市町村教委、小中学校等
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○県立特別支援学校における学校運営協議会の設置 ○特別支援学校の魅力化の推進、地域との連携・協働による学校づくりをおこなうための実践研究 ○特別支援学校の教育活動の内容を効果的に発信し、魅力ある学校づくりを支援する事業の展開
取組方針・達成目標	実施率目標値36%の達成を目指すとともに、小学校で実施していた児童から中学校の実施への接続に積極的に働き掛ける。また、中学校での実施率25%を目指し、令和6年度には30%にする。
令和4年度実績	学校運営協議会パイロット事業（指定校3校）と魅力ある学校づくり支援事業（指定校3校）を展開し、各学校の地域と連携した教育活動を推進するとともに、その取組を県内に周知した。
令和5年度事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会パイロット事業（指定校4校）では、学校運営協議会を核として地域の教育資源を活用し、実践的・体験的学習活動の研究・開発を推進する。 ○魅力ある学校づくり支援事業（指定校4校）では、学校と地域の連携・協働に向けて地域と学校が協働で活動する研修会等を実施するなどして推進を図る。

目標	地域づくり
主な取組	市町村教育委員会への支援
事業名	32 発達障害早期支援事業
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育コーディネーターによる地域支援 ○外部専門家の派遣
取組方針・達成目標	保健福祉部と今後の本事業の進め方等について協議中であることから、令和2年度中に事業の在り方を整理検討し、令和3年度から担当課との連携の在り方を含め、整理した形で実施する。
令和4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○発達障害のある幼児に対して早期に対応を行った。 ○特別支援学校コーディネーターの派遣（215件） ○外部専門家の派遣（0件）
令和5年度事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施策No.35特別支援教育総合推進事業における特別支援学校のセンター的機能強化による相談対応の実施 ○発達障害児者総合支援事業における支援体制による取り組み（保健福祉部精神保健推進室）

目標	地域づくり
主な取組	特別支援教育の推進に向けた普及啓発
事業名	33 教育相談調査研究等事業
担当課	総合教育センター（特別支援教育課予算）
事業内容	特別支援教育理解のための公開講座の開催
取組方針・達成目標	県内各地において、年度ごとに講演会や体験会等を実施することで、広く県民に対し特別支援教育についての理解啓発を図る。
令和4年度実績	○公開講座を2回実施。（前年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） 1回目：一般社団法人宮城県聴覚障害者協会 事務局長 浅野順一氏による講演会 演題「手話で話そう！ー聴覚障害者の暮らしとコミュニケーションー」 参加実人数 26人 2回目：早稲田大学 教授 梅永雄二氏による講演会 演題「障害者の社会参加と自立に向けたライフスキル」 参加実人数 92人
令和5年度事業概要	○令和5年度は特別支援教育公開講座を2回実施予定である。 ・1回目 公益財団法人宮城県視覚障害者福祉協会 理事長 宇和野康弘氏を講師に講話と体験会 実施テーマ「視覚障害者の暮らしとコミュニケーション」 募集定員30人 ・2回目 東北大学精神科医師 大塚達以氏を講師にオンライン（オンデマンド配信）による講演会 を実施。 テーマ「メンタルヘルスに不調のある子どもの理解ー発達障害との関わりー」 募集定員100人（希望者にはセンター内での視聴日を設定する予定。）

目標	地域づくり
主な取組	特別支援教育の推進に向けた普及啓発
事業名	34 宮城県特別支援学校文化祭事業（再掲）
担当課	特別支援教育課、特別支援学校
事業内容	特別支援学校文化祭の実施による障害者理解の促進
取組方針・達成目標	来場者数3,000人を目標に、県民の特別支援教育に対する理解啓発に努める。
令和4年度実績	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>7 宮城県特別支援学校文化祭事業 再掲につき記載を省略</p> </div>
令和5年度事業概要	

目標	地域づくり
主な取組	特別支援教育の推進体制の整備
事業名	35 特別支援教育総合推進事業
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校
事業内容	○地域支援在り方研究会の開催 ○県立特別支援学校のセンター的機能の強化による相談対応
取組方針・達成目標	地域支援の在り方について情報交換や検討、研修を行い専門性や実践力を高め、小・中学校、高等学校等への支援を充実させる。各ブロックの研修会等の充実を図る。特別支援学校地域支援実施計画書及び報告書から各県立特別支援学校の成果課題を把握し、次年度計画に反映させる。
令和4年度実績	○地域支援在り方研究会（会場：県庁講堂） ・参加者：県立特別支援学校（特別支援教育コーディネーター） ・第1回：令和4年4月25日(月)、参加人数30名 ・第2回：令和5年2月10日(金)、新型コロナウイルス感染予防の為、中止 （代替として講演オンデマンド動画配信、資料配布） ○特別支援学校のセンター的機能の強化による相談対応（3月末） ※電話・来校対応件数5,281件、訪問対応件数1,430件
令和5年度事業概要	○地域支援在り方研究会 （会場：県庁、2回：4月・宮城県特別支援連携協議会と同時催） ○地域支援在り方研究会情報交換及び研修会の実施、特別支援学校の地域支援コーディネーターによる情報交換と調整、県内の特別支援教育について、コーディネーターの立場で協議する。（※センター的機能の強化による相談対応） ○特別支援学校のセンター的機能の強化による相談対応（通年）